

南部地域 NPOと市町村との協働アイデア提案会 実施結果

日時 平成19年8月2日(木) 13時～16時50分

場所 新都心ビジネス交流プラザ

発表 10団体

参加者 72名(NPO22、市町村35、一般4、県11)

内容 プレゼンテーション・質疑(各10分)、意見交換(60分)

※意見交換は、提案アイデア分野ごとの分科会方式で実施

コーディネーター (特)環境ネットワーク埼玉 理事 秋元智子氏

【意見交換より】

- ・協働では、行政が裏方に徹してもらえば、よい関係が築ける。やる気のある人をいかに探すのが大事だが、NPOは特定でない人とのつながりを持つことができ、コミュニティづくりにつながっていく。それを裏方としてサポートしていただきたい。
- ・行政に関わる以上、リスクマネジメントの視点が必要と



なる。NPOは、その法人や会員個人が責任をとれる面があるが、行政は税金を使って仕事をしているので、市民にきちんと説明ができないことには対応できないという制約がある。



【コーディネーターより】

- ・NPOでは「人、モノ、金」が必要、とよくいわれるが、これに加えて「情報」と「つなぐこと」が大切である。組織と組織、活動と活動、人と組織、特に縦割りといわれる内部の組織を「つなぐ」役割こそが、行政には重要なのではないか。
- ・協働に当たっては、単に委託契約を結ぶだけという関係ではなく、NPOと行政と一緒に汗をかき、信頼関係を築くことが大切である。

【アンケート結果】

アンケート回収率 65.3%(47名回答)

- ・プレゼンテーション 参考・やや参考になった 87.2%
- ・意見交換 参考・やや参考になった 85.1%
- ・提案会の必要性 今後も必要である 72.3%